

適期収穫で高品質米確保！

収穫期の早まりに対応して刈り遅れないように注意！

巻農業
普及指導センター

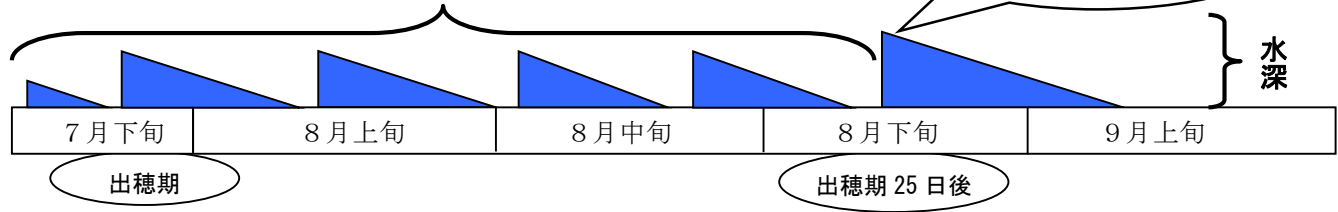
- ◎登熟を良くするため飽水管理を徹底しましょう。
- ◎出穂期がかなり早いため、収穫適期が早まる見込みです。昨年より早く収穫準備を進めましょう。
- ◎積算気温表や籾の黄化状況を確認して適期に収穫しましょう。

1 登熟期の水管理

- 出穂期 25 日後まで飽水管理を継続する。自然落水しない場合は数日で水の入れ替えを行う。
- 晩生品種等の場合、最終通水日が出穂 25 日後よりも早いため、用水が使える最終日に可能な限り深く湛水して水を確保する。
- 強風・フェーン等の発生が予想される場合は事前に湛水し、稲体からの急激な蒸散による障害の発生を防止する（終息後は水を入れ替える）。

【コシヒカリの水管理イメージ(飽水管理)】

(水位2～3cm の湛水と、溝の底に水が残る程度までの減水を繰り返す)



2 適期収穫

- ほ場ごとの出穂期から、下表及び収穫期予想積算気温表（巻農業振興部HPに掲載 毎週火曜日更新）で収穫開始適期を推定する。
- 「3 収穫適期の判定」を参考に、籾の黄化状況から、実際の収穫開始適期を判断する。
- 刈り遅れにより基部未熟粒や胴割粒が増加し、等級低下を招くため適期に収穫する。特に高温登熟年は、等級低下しやすいため刈り遅れないよう注意する。

[主要品種の積算気温による収穫期のめやす]

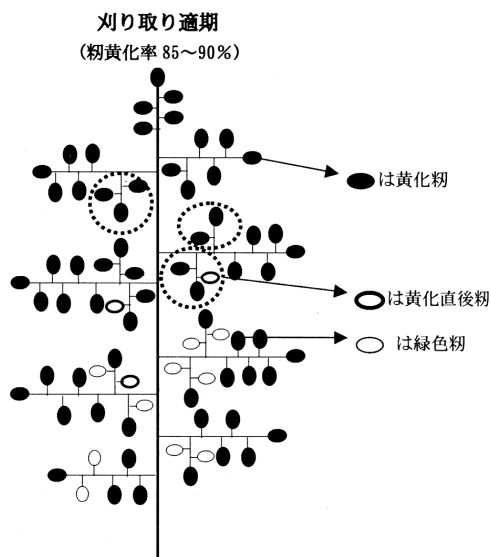
8 月 4 日現在

種別	品種名	出穂期 ※ 1	積算気温 (℃) ※ 2	収穫開始適期	備考
うるち	ゆきん子舞	7/18	925	8/22～	○収穫開始適期は出穂期からの積算気温(平均気温積算値)で算出。 ○積算気温はアメダス巻地点測定値の本年値(8/3 まで)と近年値(過去 5 年平均、8/4 以降)を使用した。
	こしいぶき	7/21	925	8/25～	
	コシヒカリ	連休植	950	9/3～	
		5 月中旬植		9/5～	
もち	わたぼうし	7/18	925	8/22～	
	こがねもち	7/23	950	8/28～	
酒米	五 百 万 石	7/16	925	8/20～	

※ 1 管内の平均出穂期。普及指導センター推定

※ 2 高温登熟の見込みのため、積算気温を 50℃マイナス、収穫開始適期を 2 日程度早めている。

3 収穫適期の判定



【黄化籾割合 85~90%（緑色籾 10~15%程度）】

上位 3 ~ 4 本目の一次枝梗に着生する 2 次枝梗籾（図中点線内）が黄化した時が収穫適期

* 一次枝梗が 9 本程度の平均的な穂を 10 穂程度調査し、8 穂以上が該当すれば収穫適期。

* 出穂後 5 ~ 24 日の平均気温が 27℃以上の高温年は黄化籾割合 80~85%が収穫適期。

黄化籾割合 100%では基部未熟粒や胴割粒が増加して整粒歩合が低下する(刈り遅れ)

4 適正な乾燥

○食味低下や胴割粒の発生防止のため、張込時籾水分に応じた送風温度に設定。

張込時籾水分	28%	24%	18%以下
乾燥時送風温度	40℃以下	50℃以下	昼間は加温せずに通風循環、半日程度貯留して夜間に加温乾燥

○乾燥中の水分測定をこまめに行い、玄米水分量を 15.0%に仕上げる。

○青米等の混入が多い場合は、乾燥終了後に水分の戻りがあるため、仕上げ水分に注意する。

100 粒中の 青米・くず米	5 粒以下	0.5%乾燥が進む
	6 ~ 11 粒	ほとんど変わらない
	11 粒以上	0.5%水分がもどる

乾燥後の水分変化のめやす（富山農試）

○成熟期頃のフェーンによる乾燥が続いた場合、胴割粒増加が予想されるので、毎時乾減水分 0.5%以下になるよう送風温度を低くしてゆっくり乾燥する（刈り遅れの場合も同様）。

○乾燥機に 2 段乾燥機能や休止乾燥機能などが備わっている場合は活用する。

5 調製作業

○籾すりは、肌ずれ防止のため、籾の温度が常温近くまで下がってから行う。

○ゴムロール間隔は 0.8~1.2mm を基準に脱ぶ率が 80~85%になるように調節する。

○ふるい目は 1.85mm（五百万石は 2.0mm）以上を使用し、流量調節を適正にしてくず米を除去する。

○色彩選別機を活用し、整粒歩合を高める。

6 その他

○収穫前にクサネム等の雑草をほ場から除去し、玄米への雑草種子の混入を防止する。

○異品種等の混入を避けるため、品種切替時にコンバイン、乾燥機等の清掃を徹底する。

○始業前の機械点検を行い、事故の防止に向けて安全な作業を徹底する。

収穫期もこまめな休憩と水分補給で熱中症を予防しましょう！

「収穫期予想積算気温表」を新潟地域振興局巻農業振興部 HP に掲載中

